

「光の道」WG (第2回)の結果について

1. 日時

2010年8月18日(木)16:00～18:30

2. 参加者

山内主査、相田構成員、北構成員、篠崎構成員、中村構成員、舟田構成員、吉川構成員

3. 議論の概要

(1)「光の道」戦略大綱(案)について

- 今回の「光の道」戦略大綱(案)の内容で、5月の「光の道」に関する基本的方向性から追加されたものは何か。
- ユニバーサルサービスの関係で、「基本的考え方」と「取組の方向性」との間で微妙に書き分けている部分があるが、これに意味があるのか。
- 基盤整備の手法は、具体的にどのようなものを想定しているのか。
- 法律を改正する場合に、改正内容が見えているものはあるのか。

(2)次回(8/23)の事業者ヒアリング資料について

- 事業者間で対立する論点と合意している論点がある。ヒアリングに臨むに際して、そこをある程度整理しておいた方が良いのではないか。
- メタルと光の二つのシステムを運用する非効率さはなくなるので、アクセスの光化、コア網のIP化を進めていくという方向性は、皆同意していると思う。今日の大綱案との関係で言えば、事業者間で議論が分かれるところは、公正競争の部分とマイグレーションの部分か。

4. 今後の予定

次回は、8月23日に開催し、事業者ヒアリングを行うこととなった。なお、「光の道」WGとしての「光の道」戦略大綱(案)の修正は、山内主査に一任された。